

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	観光振興事業	担当課	産業観光課
事業内容(簡潔に)	地域情報発信センター指定管理・各種団体支援		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり	
	政策	訪れる人が豊かさを実感できるまちづくり	
	施策	魅力ある観光施策の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	観光協会事業費補助金交付要綱 市外発信型観光イベント事業費補助金交付要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	本市の観光資源の利活用を図り、観光客を誘客するために事業を実施する。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 各観光振興団体の活動により観光振興（誘客）を図るため、団体等へ負担金及び補助金を交付する。 市民交流センター内に地域情報発信センターを設置して、観光案内や地元特産品（物産土産品）を販売するなど、韮崎の魅力を情報発信する。 地域おこし協力隊を採用し、山岳を中心とした山岳観光を推進する。
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 観光客 県関連観光協議会や市観光協会、地域の観光振興団体

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
財 源 内 訳	A 事業費 (千円)	28,418	43,926	34,765
	国・県支出金	0	0	0
	その他(使用料・借入金ほか)	0	0	0
	一般財源	28,418	43,926	34,765
B 担当職員数(職員E) (人)	0.65	1.65	1.65	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	4,365	10,849	10,861	
D 総事業費(A+C) (千円)	32,783	54,775	45,626	
主な事業費用の説明	各種団体負担金・補助金(観光協会、信玄公祭り)、地域情報発信センター指定管理委託料、地域おこし協力隊人件費 等 ※令和2年度から「B.担当職員数」の人数を増加した事由は、韮崎市観光協会へ出向者がいるため。 ※令和2年度に事業費が増加した事由は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指定管理者や公共交通事業者に対する支援のため、休業協力金や負担金免除(市負担金増額)を実施したため。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 補助・負担金交付実績 ※観光協会を除く	交付団体数 交付金額	12団体 4,488千円	9団体 7,789千円	9団体 4,106千円
	2 観光協会補助金	補助金額(円)	13,394千円	26,188千円	20,534千円
	3 地域情報発信センター 指定管理委託料	金額(円)	3,815千円	5,761千円	5,000千円
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	各種運営協議会や推進協議会への分担金・負担金であり、指標は妥当である。 (令和2年度は信玄公生誕500周年イベント、狼煙花火打ち上げの負担金が臨時で増加した。)			
	2	観光客数の増大を図るためには、様々な観光振興事業を実施する観光協会は必要であり、妥当である。			
	3	民間の発想を活用するため地域情報発信センターを指定管理者による管理運営することは妥当である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

項目	指標名		指標の算出方法	実績値		
	観光入込客数(イベント除く)		(人)	元年度	2年度	3年度
				490,729人	317,822人	339,174人
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	観光入込客数一人当たりに対する補助金・負担金額(除く市観光協会)	補助金・負担金(除く市観光協会)交付実績額÷観光入込客数(円/人)	9.1円/人	24.5円/人	12.1円/人
	2	観光入込客数一人当たりに対する市観光協会補助金額	市観光協会補助金交付実績額÷観光入込客数(円/人)	27.2円/人	82.3円/人	60.5円/人
	3	来館者数一人当たりに対する情報発信センター指定管理料	地域情報発信センター指定管理料÷来館者数(円/人)	55.2円/人(69,097人)	234.2円/人(24,597人)	157.5円/人(31,746人)
成果			<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明		1	費用対効果を測るため、各種団体への負担金・補助金実績額を市内観光入込客数で割り、観光客一人当たりに係る費用を成果指標とする。 令和3年度の観光入込客数一人当たりに対する補助金・負担金額が、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元年度に比べて上がっているため、事業成果は上がっていないといえる。			
		2	費用対効果を測るため、観光協会補助金実績額を市内観光入込客数で割り、観光客一人当たりに係る費用を成果指標とする。 令和3年度観光入込客数一人当たりに対する市観光協会補助金額が、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元年度に比べて上がっているため、事業成果は上がっていないといえる。			
		3	費用対効果を測るため、地域情報発信センター指定管理料を来館者数で割り、来館者一人当たりに係る費用を成果指標とする。 令和3年度来館者数一人当たりに対する情報発信センター指定管理料が、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元年度に比べて上がっているため、事業成果は上がっていないといえる。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input checked="" type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)	
事務改善案の	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) 地域情報発信センター(駅前観光案内所)と(一社)市観光協会の機能や役割が重複しているところがあるため、次回の地域情報発信センター(駅前観光案内所)指定管理者の選定(令和7年度)までに、両団体の果たすべき役割、機能、組織の在り方等を検討し、費用対効果が高く、機能的な団体になるよう改善案を検討する。	
過去の改善経過	改善の経過	平成23年度: 市民交流センター内に情報発信センター/駅前観光案内所(指定管理)による管理委託。 平成23年度: 市外発信型イベントに補助金(70,000円×3地区)を交付。 平成27年度: 1地区70,000円⇒90,000円に増額。 平成30年度: サマーイルミネーション開催/花の里プロジェクト補助金の創設。 令和元年度: 山岳観光専門に地域おこし協力隊員1名を採用 令和元年度: 市観光協会の一社団法人化(R2.4.1~) 令和2年度: 花の里プロジェクト補助金廃止
	内部評価	令和2年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	改善案	・昨年度は台風による影響及びコロナ禍(R2.3月~)により例年に比べ成果が低調であった。 ・また令和2年度においても、これまでの大規模な観光イベントは中止となっている。 ・今後は、収束の見通しがたたないことから、3密とならないイベントを研究し、また感染症予防対策が取れる形態にて安心・信頼される観光イベントの開催手法について検討を行い、実施していく。 ・それら事業については、一般社団法人市観光協会と連携を取り、相乗効果を高めていく。
	外部評価	令和2年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	改善案	・観光協会の一般社団法人化として1年が経過し、会員の増加という成果があった一方、法人化のメリットを活かした運営がされたとは考えていません。 ・今後、自主性の確保とともに駅前観光案内所や甘利山グリーンロッジの運営の取り込みなどを研究する必要があると考えています。
課長所見	令和2年度に市観光協会を一般社団法人化してから、新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、地域観光に資する事業があまり実施できていないことから、今後は組織の抜本的な見直しを図る。	